| 授業科目名・形態 | 病態治療学Ⅰ（内分泌系）　演習 | 必修・選択の別 | 必修 | 単位数 | 2 |
|---|---|---|---|---|---|
| 担当者氏名 | 池島　進 | 実務経験の有無 | 有 | 開講期 | ２年前期 |
| 科目ナンバリング | N3-2008npmht | | | | |

**【授業の主題】**

看護の対象である内科系疾患の病態と治療について学ぶ。

**【到達目標】**

内分泌疾患、糖尿病を中心とした代謝疾患の基本、代表的な神経疾患について習得する。

**【授業計画・内容】**

第 1 回　内分泌　　甲状腺ホルモン
第 2 回　内分泌　　副腎皮質ホルモン
第 3 回　代　謝　　糖尿病
第 4 回　代　謝　　糖尿病
第 5 回　代　謝　　脂質代謝
第 6 回　神経疾患　　脳卒中
第 7 回　神経疾患　　筋萎縮性側索硬化症（ＡＬＳ）、パーキンソン病

**【授業実施方法】**

板書とプリント、講義形式

**【事前・事後学習】**

・講義内容に関する事前学習を毎回 30 分以上行うこと。
・講義内容を踏まえ、復習を毎回 30 分以上行うこと。

**【授業準備】**

一般的な知識に臨床現場の状況を交えて学生の印象に残る授業を目指す。

**【主な関連する科目】**

成人看護方法論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、老年看護方法論Ⅰ・Ⅱ

**【教 科 書 等】**

指定する教科書

**【参 考 文 献】**

特になし

**【成績評価方法】**

筆記試験 100％

**【実務経験及び実務を活かした授業内容】**

内科の臨床医として勤務。この経験を活かして実践的な授業にしたい。

**【学生へのメッセージ】**

基本的内容の習得を目指してください。